

普及活動情勢報告（令和4年12月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

つの茶産地の維持に向けて ～津野町茶業振興計画策定会議分科会～



課題・解決策を抽出する参加

11月21・25・29日、津野町役場西庁舎会議室で、津野町茶業振興計画策定に向けて「生産」「販売」「文化」の3部門での分科会が開催され、生産者、関係機関職員など延べ27人が出席しました。

つの茶を取り巻く現状は厳しく、取り分け荒茶単価の低迷や資材費の高騰により、茶生産者の経営維持が難しくなっています。

そのため、関係する事業者が一丸となって産地の維持に取り組む津野町茶業振興計画の策定を進めています。

当課は、各分科会において課題・解決策を抽出し、効果・難易度別にまとめる作業を支援しました。

当課は、今後もつの茶産地の維持に向けて、関係機関と連携し、津野町茶業振興計画策定に取り組んでいきます。

集落営農組織等の連携による課題解決に向けて！ ～須崎地区集落営農組織等代表者連絡会を開催～



集落営農の現状などを説明する普及指導員

11月24日、須崎市総合保健福祉センターで、須崎地区集落営農組織等代表者連絡会を開催し、4市町の集落営農組織等の代表者や関係機関職員など30人が参加しました。

まず当課から代表者連絡会の設立目的や活動計画などを説明し、連絡会を設立しました。その後の研修会では、専門技術員による講演、管内外の2組織から、活動事例が報告された後、「人材の確保」や「組織間連携」をテーマとした意見交換を行いました。

参加者からは今後の活動に参考となる内容であったとの声が多数ありました。

今後は、この連絡会の活動を通して、集落営農組織等の経営安定と課題解決に向けて取り組んでいきます。

新規就農者などの知識習得を目指して ～令和4年度農業基礎講座を開催～



講師（普及指導員）の説明を熱心に聞く参加者

11月25日、12月2・9日、須崎合同庁舎で就農希望者や新規就農者など延べ14人を対象に、農業基礎講座を開催しました。

講座は、参加の機会を増やすために、同一内容で夏冬2回開催しており、今回は夏に参加のなかったミョウガや雨よけシシトウ生産者が参加しました。

当課から、土づくり、植物生理、病虫害・防除、農業経営などの基礎知識について説明し、参加者からは、温度管理や病虫害防除、簿記記帳などの様々な質問が出され、アンケートでは全員から「理解できた」との感想がありました。

今後は、アンケートで把握した、整枝や培地、ハウス構造などの学びたい内容を、次年度の講座内容や巡回指導等に活かしていきます。

GAP 点検でリスクを回避し安全な農作業を！！ ～インゲン部会出荷始め総会～



農作業安全の説明をする普及指導員（中央）

11月30日、JA土佐くろしお大間出荷場で令和5園芸年度インゲン部会出荷始め総会が開催され、部会員37人のうち17人が出席しました。

当課からは、部会で取り組んでいる高知県版ガイドライン準拠GAPについて、点検シートの活用を呼びかけました。GAPのうち「労働安全」について、農業は他産業と比べて年間死亡事故が多いことや、草刈機を例に挙げて事故を未然に防ぐ必要性を説明しました。今園芸年度に新しく加わった2人を含む出席者は熱心に耳を傾けていました。

今後も継続して、「労働安全」をはじめ「環境保全」「食品安全」のGAPについて啓発を行い、関係機関とともに生産安定と品質向上を目指した営農を支援していきます。

ニラの品質向上を目指して ～ニラ部会出荷始め総会～



真剣に話を聞く生産者

12月2日、JA土佐くろしお大間出荷場会議室でニラ部会が出荷始め総会を開催し、生産者12人が出席しました。

当課は、ネギアザミウマの薬剤感受性検定結果について説明し、RACコードに基づいた薬剤ローテーション散布を啓発しました。

生産者からは、「今ある薬剤を大切に使わないかね」「同系統の農薬の連用に気をつける」といった声が聞かれました。

当課は、JAと連携した巡回などでローテーション防除の実施を呼びかけ、高品質なニラの生産を支援していきます。

農業を土づくりから学ぼう！ ～土づくり勉強会を開催～



土づくりについて説明する普及指導員（右）

12月8日、シシトウ、キュウリなどの若手生産者の要望を受けて、JA土佐くろしお久礼支所で、生産者7人、新規就農希望者1人、JA営農指導員2人が参加し、土壌管理を基礎から学ぶ勉強会を開催しました。

勉強会では当課職員が講師となり、「土づくりの基礎知識」や「トラクター・耕耘機等の安全使用」について説明を行いました。参加した生産者からは活発な質問が出たほか、「有意義な時間であった」「今後の勉強会にも参加したい」などの意見がありました。

当課は若手生産者の栽培管理技術の向上を目指して、今後も関係機関と連携し、勉強会の開催を行っていきます。

生産力向上を目指して！今作の栽培を振り返ろう ～津野山ミョウガ部会反省会～



熱心に話を聞く参加者

12月13日、JA高知県津野山営農経済センターで津野山ミョウガ部会が反省会を開催し、14人の生産者が出席しました。

当課からは、今作の出荷傾向とその環境要因についての説明、SAWACHIの加入推進、担い手・農福連携に関するアンケートを実施しました。また、情報提供として農作業安全の啓発、農業版BCPの作成推進資料の説明も併せて行いました。

参加者は、収量と環境の関係について熱心に聞いていました。

当課は今後もJAと協力して、生産者のミョウガ生産力向上を目指した指導を行っていきます。

栽培技術の向上を目指して！今作を振り返ろう ～津野山ピーマン農家反省会～



熱心に話を聞く参加者

12月15日、JA高知県津野山営農経済センターで津野山ピーマン生産者が反省会を開催し、2人の生産者が出席しました。

当課からは、今作の課題であった主枝の仕立て方法・病虫害防除について、実績を基に説明しました。また、今後の活動計画の説明、SAWACHIの加入推進、担い手・農福連携に関するアンケートの実施しました。

生産者からは、今作の栽培管理や今後の活動について、「仕立て方の視察に行きたい」などの意見がありました。

当課は今後もJAと協力して、津野山ピーマン農家の栽培管理技術向上を目指した指導を行っていきます。